

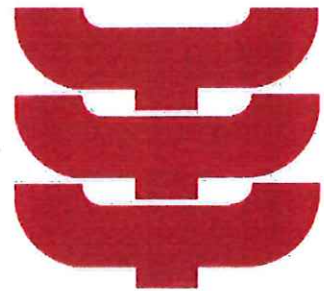
# 重要文化財光明寺本堂（大殿） の保存修理工事（半解体修理）を進めています。

（令和3年3月13日発行）

2019（令和元）年11月から進めている本堂（大殿）保存修理工事は現在（2021.3.13）、外部は素屋根（本堂をすっぽり覆う建物）の骨組みの組み立て中、内部では、ご本尊阿弥陀三尊像をお祀りしていた内陣仏壇（須弥壇、厨子）、善導大師像や弁財天像をお祀りしていた脇仏壇の取り外しや、堂内全体の畳の取り外しを行いました。また裏参道の崖崩れを片付け、新しい土留め柵を設置しました。

素屋根の建設は柵の外からも見えていますので、本号では普段見ることが出来ない内部や背面の最近の様子をご紹介します。

本堂裏参道の整備（崖崩の土砂搬出と土留め柵の設置）





内陣の様子

着手時



須弥壇・厨子・脇仏壇・位牌壇や畳をとりはずしました

現在





厨子の内部の様子

着手時



金箔押し壁板 (壁紙) の取り外し



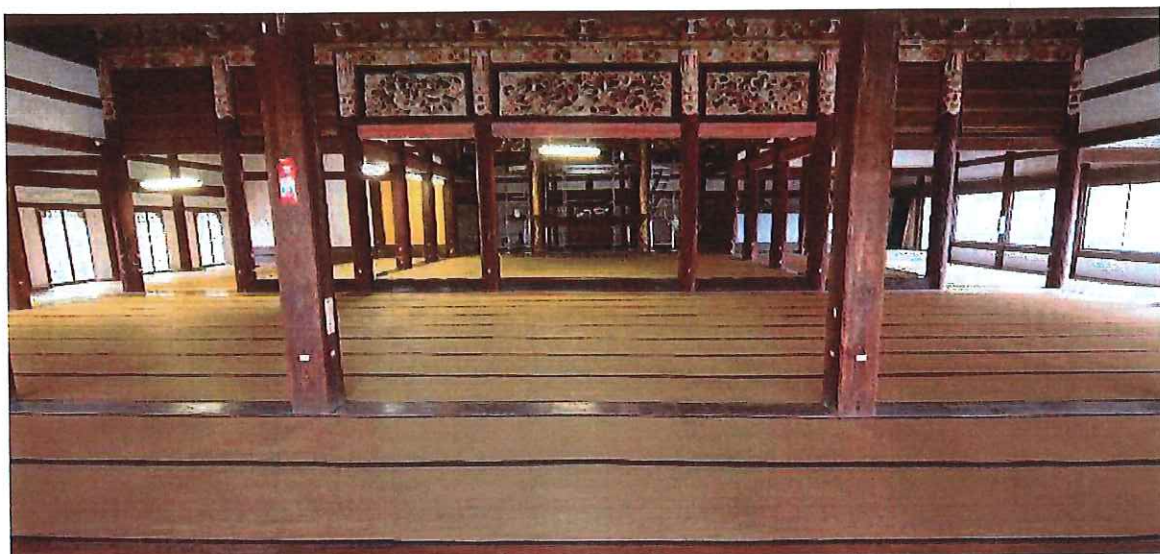
天女が描かれたり赤色に塗られたりした壁板が現れました



何度か姿が変わってきた (らしい) ことがうかがわれます



畳が敷き詰められた堂内の様子



畳を取り外しました



取り外し中

畳の裏と床板



床の痛みが畳に影響していた

本事業は文化庁の保存・活用事業費補助金とともに神奈川県及び鎌倉市からの補助金を得て実施しています。